

ことが至難である、殊に地方財政をも緊縮せられようとする今日では、若し國家の補助を中止したならば地方官廳に於ても亦道路工事を中止するに至り、既定改良工事は素より、復舊工事も疑はしくなるであらう、元來道路に關し傳統的に無關心な邦人には國家の援助指導に依り辛じて改良を促進せらるるので眞に道路改良の緊急なるを自覺せざる限り道路工事を地方財政に委するは過早である、特に國家的見地より必要とする道路の改良に於ては更に然りとする處である。

京城商業會議所會頭 渡邊定一郎

農村救済策と道路問題

道路の開鑿修築は、朝鮮に在りては積極的に農村振興たるのみならず、消極的には農民生活の保障たる意味を有し候、申す迄も無之朝鮮農村の疲弊は其極に達し、住民の九割を占むる農家は幼稚粗笨なる耕作法に依り僅少の收穫物を得る外に收入の途を有せず、萬一不作凶作に際會すれば、草根を嚙り幼芽を喰つて飢餓を醫するの有様に有之、而かも治山治水行はれず凶作屢々至る有様に有之、之を救済するの途は根本的に計畫するの必要有之候得共、土木工事を興し勞銀を與ふ

るの外なく從來此意味の道路修築改鑿不尠候、特に本年の如き早魃に際しては尙更其用意肝要にして財政緊縮の故を以て道路改良費豫算を削減するが如きは或は由々敷結果を生ずべき事なしとは斷言難致加之本來道路と稱すべき道路を有せざる、村落農民には農閑期を利用して道路改良のことに従はしむること農村振興の楔子にして到底内地と比較の出來難き程度の必要を痛感する次第に御坐候。

小運送と道路問題

小運送と道路問題も亦朝鮮の重大問題に有之、野生等多年唱導する所に有之候、朝鮮は鐵道幹線は不完全ながら一線を通し居り候得共、給與線の發達は全く振はず幹線道路は僅かに體裁を保つも、支線道路に至りては殆んど顧みられず物資の移動見るべきもの無之候朝鮮の普遍的開發は交通機關就中小運送に便する道路網の完成を急と致し候、之に依り地方村落の更生を促し、産業隆興の氣運を作り可得乎と愚考罷在候、有體に言へば朝鮮には大運送を目的とする道路は未だ時期到來せず道路は直に小運送道路に解して可なるべく、之により運賃の低減を計り普く原料食料を集め内地に供給すること朝鮮の探るべき唯一の經濟政策に御坐候。

財政緊縮の爲道路工事を中止又は 繰延するの可否

財政緊縮の爲め、道路工事中止又は繰延を爲すの可否に就ては唯遺憾と申すの外なく、目下財界は危期に瀕し如何なる犠牲を拂ふも國運の挽回に努力すべき時節と信じ申候、但し前陳の通り朝鮮農民の狀態に就ては、内地政府も國民も十二分の考慮を拂はれ嗟膺の遺恨事を現出せざる様豫算編成上に御注意あらむことを衷心希望する次第に御坐候。

地方財政と道路問題

以上の通り朝鮮の道路問題は、一日も忽緒に附すべからざるものに有之候得共、朝鮮自からの財力を以てしては其實現覺束なく、況んや朝鮮の地方的力を以てしては、百年尙ほ舊態を改むる能はざるものと存候、故に地方官廳は總督府に補助を仰ぎ總督府は、更に中央政府に補助を求めざる可らざる部分不尠候、即ち朝鮮の道路は地方的たると國際的たるを問はず、其實現は中央政府の意の儘にして朝鮮の地方的財政と結び付けて研究すべき餘地は寧ろ小部分に止まり可申候。

北海道農會長 南 鷹 次 郎

農村救済策と道路問題

道路と農村の救済との關係は之を二方面より見るを得べし一は道路工事に、農業者に業を授けて賃銀を得せしめ以て其の經濟を裕ならしむることなり、本道に於ては大正二年の大凶作の際農民は食に乏しく遂に種粃をも食ひ盡せるが當時當局が此の窮迫を救済せんとして施したる重なるものは道路工事なりき、本道は國庫より借款して爲めに七十萬圓の道債を起したりと雖も農民は之に依りて饑餓を免がるゝを得此と同時に道路は改善せられて翌年よりは物資の運搬に大なる便益を得農民の喜びと感謝とは凶作の災を償ふて優に餘りあり洵に好箇の救済事業たりしなり、凡そ天災地變に際し金銀糧食を無報酬的に與へて之を賑恤するは、徒に徒食を教ゆるに等しく弊害ありて利益少なし宜しく業を授けて報酬を與へ以て勤勉努力の精神を涵養せざるべからず而して農民救済は、恐くは道路工事の右に出づるものあらざるべし。

他の一方面は、永久策として生産費の減少是れなり抑も現今の農業者は自給自足のみにて完全に生活する能はずならずや